

ユ一口円CB発行に関する 補足説明資料

ロート製薬株式会社
2025年2月26日

本件の概要



項目	2032年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債
募集市場	欧州及びアジアを中心とする海外市場(但し、米国を除く)
年限	7年
発行額	250億円
発行決議日	2025年2月26日(水)
条件決定日	2025年2月26日(水)
払込期日	2025年3月14日(金)
償還期日	2032年3月15日(月)
社債利息	0.00%
募集価格	104.0%
払込金額 / 償還価額	101.5% / 100.0%
当初転換価額	未定
付帯条項	転換制限条項(～満期3カ月前130%)
資金使途	コア事業における研究・商品開発の強化、成長投資事業における研究開発、事業基盤の強化のための充当金約60億円 / Eu Yan Sang International Ltd.(EYS社)の買収資金のパーマネント化等を目的とした借入金の返済資金約140億円 / 自己株式取得に係る資金約50億円
自己株式取得	市場買付上限 50億円 / 2,430,000株 (取得期間:2025年2月27日(木)~2025年4月30日(水)) 発行決議日翌営業日(2025年2月27日(木))にToSTNeT-3による買付け予定(約50億円/2,174,300株) ※上記予定株数未満の場合、2025年4月30日(水)までの期間内において、 市場環境や諸規則等を考慮したうえで、自己株式の取得を継続していく予定
ロックアップ	当社 / 引受契約締結日から払込期日後180日を経過するまでの期間
単独ブックランナー兼 主幹事引受会社	SMBC Bank International plc
コ・マネージャー	Nomura International plc

本件の意義・目的



世界的な金融市場及びそれを踏まえた資金調達環境が不透明な状況が続く中、
EYS社買収に伴う借入金の返済及び「ロートグループ総合経営ビジョン2030」の達成、
資金調達戦略の柔軟性向上を企図した戦略的な資本政策として、本CBの発行及び自己株式取得を決議

CB発行の 意義・目的

- 「ロートグループ総合経営ビジョン2030」を掲げ、**コア事業の基盤強化**や**新事業での成長投資**を積極的に実施
- 資金使途
 - **コア事業・成長投資事業**への投資と事業基盤の強化、**EYS社買収**に伴う借入金の返済、**自己株式取得**
- 本CBは当社の**資金調達手段の多様化**に寄与
- ゼロ・クーポンかつ払込金額が社債額面以上で発行
 - **金利上昇局面**の中、**金利コスト及び資金調達コストの最小化**を企図
- 当社の現在の株価を上回る水準に**転換価額**を設定
 - 発行後の1株当たり当期純利益(EPS)の**希薄化を抑制**しつつ、将来的に株価が上昇する局面において**転換**を企図
- **転換制限条項の活用**により、本CBの**転換可能性**を抑制しうる
- **自己株式取得**を並行して実施
 - ROEや1株当たり当期純利益(EPS)等の向上、CB発行に伴う株式需給への**短期的な影響の緩和**を企図

※: EYS社はEu Yan Sang International Ltd.を指す



ロートは、ハートだ。



1

24/3期まで4期連続の増収・増益を達成し、過去最高益を更新

- アイケア、スキンケア、内服の各カテゴリーで過去最高の売上
- 日本、アジア、米州、欧州の各地域で2桁増収・増益

2

国内市場における、スキンケア、OTC医薬品の更なるシェア拡大と中高価格帯での成長

- 「肌ラボ」、「メラノCC」の更なる強化
- 「オバジ」、「ダーマセプト」等、中・高価格帯でのシェア拡大

3

アジアにおける成長加速と米州・欧州における継続成長

- 東南アジアで、日やけ止め、目薬、「肌ラボ」、「セルサン」を中心に成長を加速
- 米州や欧州でも医薬品やスキンケアを中心に高付加価値製品の販売拡大

4

M&Aを活用した事業面、地域面での非連続な拡大

- 米メンソレータム、天藤製薬等、国内外で多数のM&A・PMI実績
- 2024年のEYS社やMono社買収により、アジア及び欧州を始めとしたプレゼンスが拡大

5

プロフェッショナル Medikation 領域の収益化

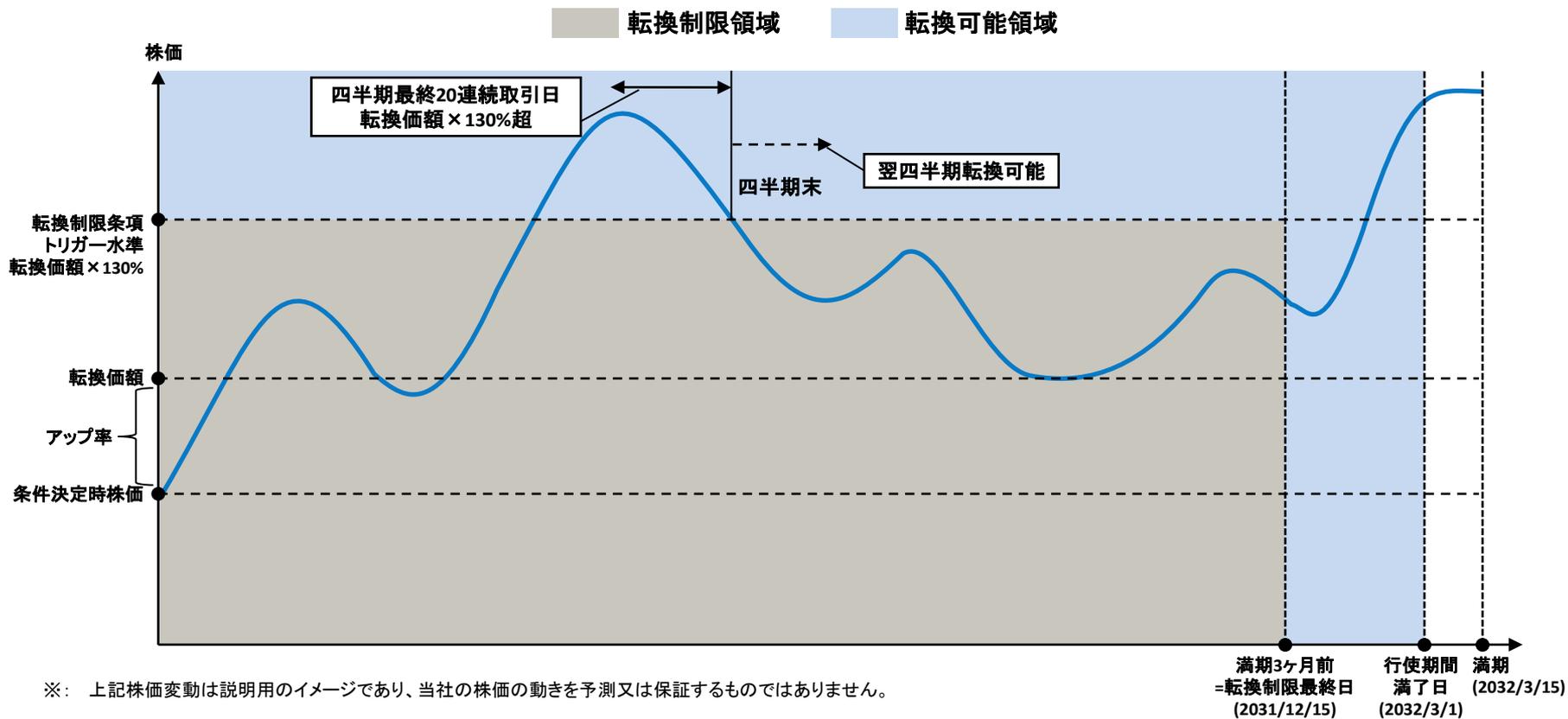
- 眼科領域の新薬開発や医療機器開発、医薬品等CDMOの早期黒字化
- ADR-001の治験進展や軟骨細胞キットの申請準備による再生医療の将来的な収益貢献

※: Mono社はMono chem-pharm Produkte GmbHを指す

本件の商品設計



転換制限条項の付与により、期中の株価が転換価額の130%(~満期3ヶ月前)を一定期間超えて推移しない限り、CB投資家が転換請求することのできない、負債性の高いスキームを採用



【参考】当社株価・出来高の推移



当社は、2030年経営ビジョン「Connect for Well-being」を発表以降、
コア事業の拡大・強化や天藤製薬、EYS社、Mono社等の買収を通じて成長を実現。
株価は、2023年9月に一時上場来高値を記録し、足元は2019年初比で1.5倍強の水準で推移



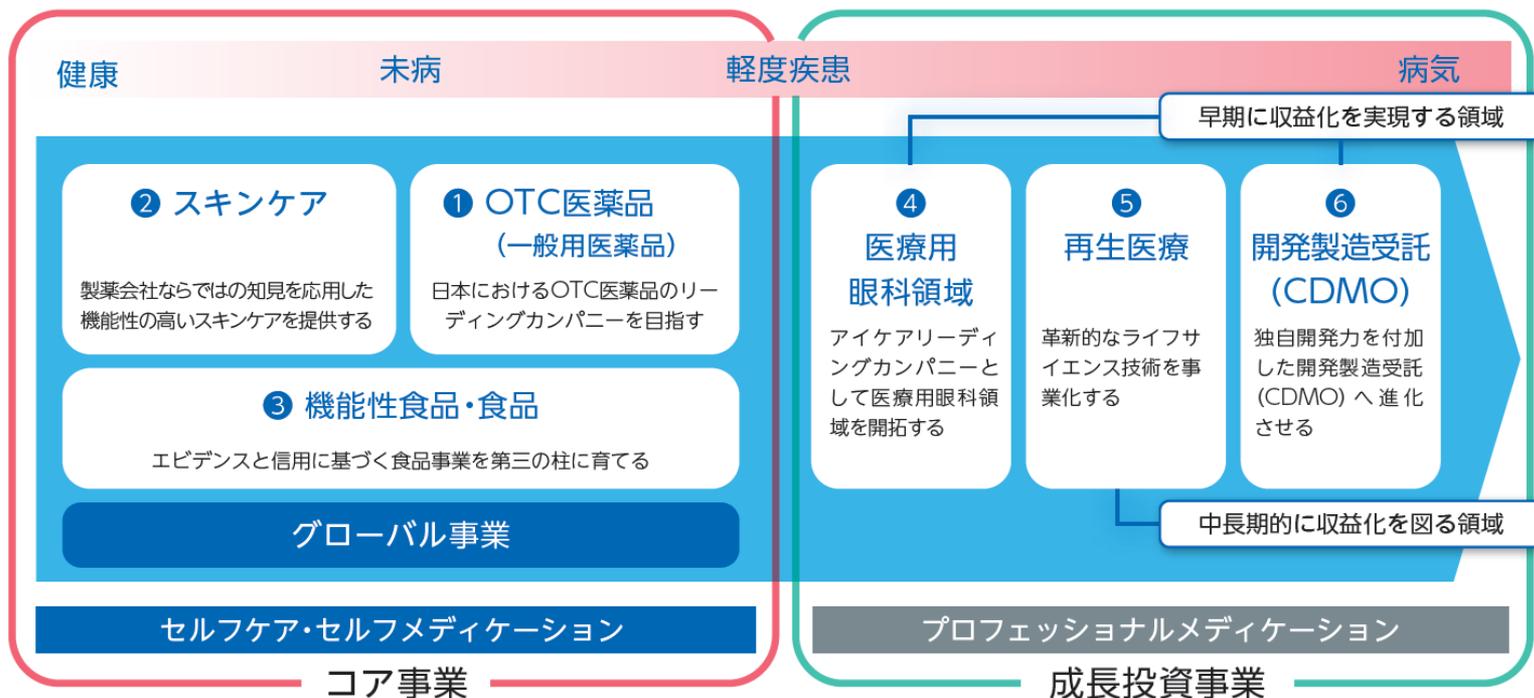
※: 上場来最高値(2023/9/14)は終値ベースでの株価

ロートグループ総合経営ビジョン2030

Connect for Well-being

今後、当社が注力していく事業領域を明確にし、
各領域で目指す姿として「事業領域ビジョン2030」を定めています

事業領域ビジョン2030で取り組むドメイン



本資料は、2025年2月26日にロート製薬株式会社(以下「当社」といいます。)が公表したプレスリリース「2032年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」、「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)」及び「自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ(会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)」の補足説明資料として作成されたものであり、国内外を問わず当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競業、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料には、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載される当社グループにおける潜在的な収益機会に関する情報は、一定の仮定に基づき当社が現時点において想定する将来的な収益機会に関する潜在的な可能性(規模感)を示すものに過ぎず、特定の時点における当社の業績についての予想、計画、見込、目標等を示すものではなく、また、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。

今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

本資料は、当社の転換社債型新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。なお、同社債については国内における募集又は売出しは行われません。また、本資料は、米国を含むあらゆる地域における同社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて同社債の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において同社債の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。なお、本件においては米国における同社債の募集又は販売は行われず、同社債の登録も行われません。